

第 6 5 回 決 算 報 告 書

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日)

公益財団法人 里見奨学会

I. 貸借対照表

令和3年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度 令和3年3月31日	前 年 度 令和2年3月31日	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	426,757	-426,757
普通預金	64,206,104	64,243,906	-37,802
未収金	166,027	166,027	0
前払費用	361,438	361,438	0
流動資産合計	64,733,569	65,198,128	-464,559
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	5,692,506,172	5,201,323,372	491,182,800
基本財産合計	5,692,506,172	5,201,323,372	491,182,800
(2) 特定資産			
投資有価証券	450,092,400	382,413,600	67,678,800
定期預金	41,790,756	41,784,914	5,842
普通預金	99,500,000	109,500,000	-10,000,000
山林	28,834,716	28,834,716	0
土地	9,500,000	9,500,000	0
特定資産合計	629,717,872	572,033,230	57,684,642
(3) その他固定資産			
建物附属	761,403	822,681	-61,278
什器備品	259,332	299,114	-39,782
電話加入権	30,380	30,380	0
敷金	1,318,800	1,318,800	0
その他固定資産合計	2,369,915	2,578,137	-101,060
固定資産合計	6,324,593,959	5,775,934,739	548,666,382
資産合計	6,389,327,528	5,841,132,867	548,301,823
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	463,130	385,888	77,242
流動負債合計	463,130	385,888	77,242
負債合計	463,130	385,888	77,242
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	6,121,938,683	5,562,925,883	559,012,800
(うち、基本財産への充当額)	(5,692,506,172)	(5,201,323,372)	491,182,800
(うち、特定資産への充当額)	(427,647,472)	(359,811,630)	67,835,842
2 一般正味財産	266,925,715	277,713,934	-10,788,219
(うち、基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち、特定資産への充当額)	(202,070,400)	(212,221,600)	-10,151,200
正味財産合計	6,388,864,398	5,840,639,817	548,224,581
負債及び正味財産合計	6,389,327,528	5,841,025,705	548,301,823

Ⅱ. 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度決算額	前年度決算額	前期比増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
受取株式配当金	142,372,887	151,697,887	-9,325,000
② 特定資産運用益			
受取株式配当金	6,137,000	8,398,000	-2,261,000
受取債券利息	448,800	448,800	0
受取預金利息	7,811	4,833	2,978
③ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
④ 雑収入	588,347	3,460	584,887
経常収益計	149,554,845	160,552,980	-10,998,135
(2) 経常費用			
① 事業費			
奨学金給付額	115,500,000	123,450,000	-7,950,000
図書購入助成費	2,000,000	2,100,000	-100,000
学術研究等の助成費	9,000,000	10,400,000	-1,400,000
奨学賞支給額	282,700	293,700	-11,000
事業費計	126,782,700	136,243,700	-9,461,000
② 管理費			
給与手当	16,650,000	12,582,500	4,067,500
賞与	2,040,000	710,000	1,330,000
退職金	0	0	0
法定福利費	1,885,158	890,907	994,251
福利厚生費	282,979	178,472	104,507
会議費	740,190	1,598,382	-858,192
旅費交通費	2,536,065	3,298,486	-762,421
通信運搬費	726,106	547,064	179,042
減価償却費	101,060	107,162	-6,102
リース料	134,784	134,784	0
消耗品費	775,944	1,229,848	-453,904
修繕費	0	0	0
水道光熱費	245,520	243,660	1,860
衛生管理費	137,280	136,240	1,040
賃借料	3,730,320	3,683,338	46,982
租税公課	50,910	36,750	14,160
寄付金	80,800	180,000	-99,200
業務委託料	1,494,700	2,188,600	-693,900
広告宣伝費	267,606	342,733	-75,127
諸会費	72,000	72,000	0
図書費	407,656	90,682	316,974
支払手数料	434,830	353,964	80,866
交際費	60,330	63,100	-2,770
雑 費	706,126	1,789,400	-1,083,274
管理費計	33,560,364	30,458,072	3,102,292
経常費用計	160,343,064	166,701,772	-6,358,708
評価損益等調整前当期経常増減額	-10,788,219	-6,148,792	-4,639,427
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	-10,788,219	-6,148,792	-4,639,427
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-10,788,219	-6,148,792	-4,639,427
一般正味財産期首残高	277,713,934	283,862,726	-6,148,792
一般正味財産期末残高	266,925,715	277,713,934	-10,788,219
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	491,182,800	-1,357,703,400	1,848,886,200
特定資産評価損益	67,830,000	-71,060,000	138,890,000
当期指定正味財産増減額	559,012,800	-1,428,763,400	1,987,776,200
指定正味財産期首残高	5,562,925,883	6,991,689,283	-1,428,763,400
指定正味財産期末残高	6,121,938,683	5,562,925,883	559,012,800
III 正味財産期末残高	6,388,864,398	5,840,639,817	548,224,581

IV. 財 産 目 録

令和3年3月31日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的	金額
[資産の部]					円
(流動資産)	現金 普通預金	手元保管		運転資金として	0
		みずほ銀行/八重洲口支店		運転資金として	44,196,104
		三井住友銀行/東京中央支店		運転資金として	20,000,000
		大分銀行/竹田支店		運転資金として	10,000
	普通預金	小 計			64,206,104
	未収金	みずほ証券(株)		利付国債経過利息	166,027
	前払費用	パーカーエンジニアリング(株)		家賃及び共益費	361,438
流動資産合計					64,733,569
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	日本パーカーライジング株式	4,633,800 株	80%は公益目的保有財産、 20%は管理費の財源とするもの	5,537,391,000
		パーカー熱処理工業株式	210,240 株		119,910,023
		旭千代田ホールディング株式	549,039 株		33,205,149
		マリンハレス株式	2,000 株		2,000,000
		小 計			5,692,506,172
基本財産 合計					5,692,506,172
特定資産	投資有価証券	パーカーコーポレーション株式	646,000 株	交付者の定めた使途(公益事業) に使用するために保有 100%管理費の財源とするもの	327,522,000
		第167回 利付国債			122,570,400
		小 計			450,092,400
	定期預金	みずほ銀行/八重洲口支店		交付者の定めた使途(公益事業) に使用するために保有	40,264,814
		大分銀行/東京支店			1,525,942
	普通預金	みずほ銀行/八重洲口支店		公益事業に使用するために保有 交付者の定めた使途(公益事業) に使用するために保有 公益事業に使用するために受入れた 他会計振替額	20,000,000
		みずほ銀行/八重洲口支店			8,000,000
		みずほ銀行/八重洲口支店			60,000,000
		みずほ銀行/八重洲口支店			11,500,000
		小 計		99,500,000	
	山林	大分県竹田市久住町	6,028 m ²	交付者の定めた使途(公益事業) に使用するために保有 事業に充当するもの	1,800,000
		大分県竹田市飛田川	122 m ²		0
		大分県豊後大野市	11,474 m ²		8,320,000
熊本県阿蘇市波野		70,082 m ²	11,450,000		
熊本県阿蘇郡高森町		5,652 m ²	2,230,000		
山梨県北杜市長坂町		9,022 m ²	5,034,716		
小 計			28,834,716		
土地	大分県竹田市会々	376.85 m ²	同上	9,500,000	
特定資産 合計					629,717,872
その他	建物附属設備	東京都中央区日本橋2-16-8-5F		80%は公益目的保有財産、	761,403
固定資産	什器備品	同上		20%は管理費の財源とするもの	259,332
	電話加入権	1回線		同上	30,380
	敷金	パーカーエンジニアリング(株)		同上	1,318,800
その他固定資産 合計					2,369,915
固定資産合計					6,324,593,959
資産合計					6,389,327,528
[負債の部]					
(流動負債)	未払費用	日本年金機構他	社会保険料他	支払が4月以降になるもの	463,130
流動負債合計					463,130
負債合計					463,130
正味財産					6,388,864,398

令和3年6月1日
上記のとおり相違ございません。
公益財団法人 里見奨学会
理事長 里見 多一

正味財産増減計算書内訳表

令和02年4月1日から 令和03年3月31日まで

単位:円

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常損益の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
受取株式配当金	113,898,310	28,474,577		142,372,887
特定資産運用益				
受取株式配当金	6,137,000			6,137,000
受取債券利息		448,800		448,800
受取預金利息	7,811			7,811
受取寄付金				
雑収入	588,347			588,347
経常収益計	120,631,468	28,923,377		149,554,845
(2) 経常費用				
① 事業費				
奨学金給付額	115,500,000			115,500,000
図書購入助成費	2,000,000			2,000,000
学術研究等の助成費	9,000,000			9,000,000
奨学賞支給額	282,700			282,700
事業費計	126,782,700	0		126,782,700
② 管理費				
給与手当	13,320,000	3,330,000		16,650,000
賞与	1,632,000	408,000		2,040,000
法定福利費	1,508,126	377,032		1,885,158
福利厚生費	226,383	56,596		282,979
会議費	592,152	148,038		740,190
旅費交通費	2,028,852	507,213		2,536,065
通信運搬費	580,885	145,221		726,106
減価償却費	80,848	20,212		101,060
リース料	107,827	26,957		134,784
消耗品費	620,755	155,189		775,944
水道光熱費	196,416	49,104		245,520
衛生管理費	109,824	27,456		137,280
賃借料	2,984,256	746,064		3,730,320
租税公課	40,728	10,182		50,910
寄付金	0	80,800		80,800
業務委託料	1,195,760	298,940		1,494,700
広告宣伝費	214,085	53,521		267,606
諸会費	57,600	14,400		72,000
図書費	326,125	81,531		407,656
支払手数料	347,864	86,966		434,830
交際費	0	60,330		60,330
雑費	176,532	529,594		706,126
管理費計	26,347,018	7,213,346		33,560,364
経常費用計	153,129,718	7,213,346		160,343,064
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,498,250	21,710,031		△ 10,788,219
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
評価損益等 計	0	0		0
当期経常増減額	△ 32,498,250	21,710,031		△ 10,788,219
科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	計
2 経常外損益の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期増減額	△ 32,498,250	21,710,031		△ 10,788,219
他会計振替額	3,300,000	△ 3,300,000		0
当期一般正味財産増減額	△ 29,198,250	18,410,031		△ 10,788,219
一般正味財産期首残高	86,598,357	191,115,577		277,713,934
一般正味財産期末残高	57,400,107	209,525,608		266,925,715
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価損益等	491,182,800	0		491,182,800
特定資産評価損益等	67,830,000	0		67,830,000
当期指定正味財産増減額	559,012,800	0		559,012,800
指定正味財産期首残高	5,562,925,883	0		5,562,925,883
指定正味財産期末残高	6,121,938,683	0		6,121,938,683
III 正味財産期末残高	6,179,338,790	209,525,608		6,388,864,398

【R2年度決算の状況】

<収支相償の判定>

公1事業

経常収益	120,631,468	→正味財産増減計算書内訳表より
過年度剰余金の額	19,128,067	→過年度の決算数値に基づく収支相償繰越剰余額
特定費用準備金取崩額(※)	10,000,000	→下記、平成26年度積立分の処理
収入合計	149,759,535	①
経常費用(事業費計)	153,129,718	→正味財産増減計算書内訳表より
特定費用準備金繰入額	0	→下記、平成29年度積立分の処理
費用合計	153,129,718	②

①<②のため、令和2年度において収支相償要件は満たしている。

①▲②(公1事業の赤字) **-3,370,183** →当年度収支相償判定額

<遊休財産の保有制限超過額の判定>

保有上限額の算定

経常費用(事業費計)	153,129,718	→正味財産増減計算書内訳表より
特定費用準備資金繰入額	0	→下記、平成29年度積立分の処理
特定費用準備資金取崩額	-10,000,000	→下記、平成26年度積立分の処理
保有上限	143,129,718	③

遊休財産額

資産合計	6,389,327,528	→貸借対照表より
負債合計	-463,130	→貸借対照表より
控除対象財産額Ⅰ	-5,692,506,172	→貸借対照表より(基本財産)
控除対象財産額Ⅱ	-629,717,872	→貸借対照表より(特定資産)
控除対象財産額Ⅲ	-2,369,915	→貸借対照表より(その他固定資産)
遊休財産額	64,270,439	④

③>④のため、令和2年度において遊休財産の保有制限は満たしている。

④▲③(保有超過額) **-78,859,279**

監査報告書

私ども監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第65回事業年度における理事の職務の執行及び会計の監査を致しました。

その方法及び結果について、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当該事業年度の事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等（貸借対照表および正味財産増減計算書並びにこれらに係る附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和3年4月26日

公益財団法人里見奨学会

監事長 吉



監事 伊藤 大義



監事 志水

